
悪夢壊し

真柴紗奈

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

悪夢壊し

【Zコード】

Z5215C

【作者名】

真柴紗奈

【あらすじ】

悪夢を喰らう死神、アズサ。自分の生きていた頃の記憶を取り戻すために、戦う。

プロローグ

『いや、…だ！来ないで！』

いきなり目の前に現われた黒い、明らかに人間ではないもの。自分はどこにいる。

ここは自分の知ってる場所じゃなかつた、それ以前に現在にあるまじき世界の姿だつた。

必死に必死に死に物狂いで這い蹲つて逃げる。

あれが何者なのか、此処はどこなのか、わからない事は沢山だ。

ただ、わかる事は『逃げる』という事。

『殺す殺す殺す殺す殺す殺す殺す殺す殺す殺す殺す殺す殺す殺す殺す殺す殺す殺す殺ス！－！－！』

異様なまでに不吉な言葉を発するその物体。

よりいつそう恐怖が増した。

さつき、切られた頬が痛い。

夢なら痛くはない、といつ迷信はついに信じてしまつものだ。痛いから、夢ではない。勝手にそう信じてしまつた。

もう、心が諦めに捕まつていた。

もう黙りだ。

私はここで死ぬんだ、消えちゃうんだ。

この意味のわからない物体に叩き切られて死んでしまうんだ。

『諦めるのはまだ、早い。』

こんな時に凜と研ぎ澄ませた青年の声。
どこか馴染みの深い、そして懐かしい。

ある少年の姿を自分は思い出していた。

暗闇から見える少年、

鎌を所持している、とつたに思い出したのは、死神。
まさか、

『醜い姿から変化を表せ、悪夢よ！死神、アズサの名の下に、浄化
せよー。』

パン、と黒い、惡々しき物体は破裂。

物体の破片などはどこへいったのか、見当たらない。

そして破裂したと同時に暗闇だった空間に光が差した。

あたりを見回すとよく見た事のある部屋、自分の部屋だった。
どれもこれも昨日の夜見た風景と同じもの。
目に入った目覚まし時計も7時を指している。

一体、何だったのだ。

先ほどまで見ていたのは、夢だったのか。

頬に切れた傷跡、ピツタリと元通りになつてはいるが痕が残つてい
る。

真実だったのか、幻なのか。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5215c/>

悪夢壊し

2010年10月10日00時23分発行